

發行兼編輯人 川崎文治
本社下同番地(電話六三〇番)
印刷所 常磐毎日印刷所



刊夕日二十月一

定部金貳錢一廣五錢十二休日曜大祭
郵政特種郵便物認可(第三種)
料(一)字一十行一十日(二)字一十行一十日
料(一)字一十行一十日(二)字一十行一十日

常磐毎日新聞
笑の研究 (五)
原 精一

彼の笑ふとは同時に自己の笑ふ動機を與へて呉れます。たとへて申すなればお盆を交換して居る様なものです。若しくは眞實に酒樽を置いて一盆十銭のコップ酒をどちらかの一方の人が十銭を出して買つて呑むかすると今かつた人がその十銭で今度は自分が買つて呑む、斯くして十銭の金をやつたり取つたりして居る内に両方とも上氣嫌になつて踊り出す様なものです。笑ふ上に齒の必要な所以は此處であ

ります、齒が缺けて居たり齒がきたなかつたり兎角相對する人に不快の感を與へる様では自分が笑ふとが出る様になつてしまふのです。ですからほんとに笑ふ爲には自分と相對する相手方に最も良い感と與へるに依つて彼をして思ふ存分笑はしめ彼の笑ふとに依つて自己も亦笑ふと云ふのでなければならぬと思ふのです。齒を健全に保つとは口腔を清潔に保つては單に自己の爲ばかりでなく自己に接するあらゆる人々の爲に必要であると思ひます言ひかへれば自己の齒は自己の齒のみではないのです、此の意

味に於て私は日本國民の總てか美しい齒の所有者であつて欲しいと思ふのです、そして總ての人々が笑ふて笑ふて笑ひ興するならば單にそれらの人々に福が來るばかりでなく日本國民の總てを美人美男子たらしめるとはさのみ困難ではないと思つて居るのであります (をばり)



酒銘 近盛
電話七〇七番御利用下さい
近遠を問はず迅速に配達致します

平町向 主金成 錦星

龍功散
「他ノ藥ニテ効能無キ御方ハ龍功散ヲ吞ンデ卓絶スル」
効能ヲ御試下サイ

本舖 渡邊龍功堂
平町三丁目電話百八

新年會 特別 御勉強致候
平町松雲園池端 電話三三六番

鳥なべ 一人前五十錢 二人前六十錢	牛なべ 一人前四十錢 二人前六十錢
-------------------------	-------------------------

洋食類は從前の通り……
普通品廿錢均一に値下
平町一丁目横町(電話六二〇番) カフェー。タヒラ

公債 債券 賣買
大正生命保險株式會社 代理店
多田井質店
平町大工町

今冬最新流行
子帽・物洋
安ノイ澤山揃タシマヒ

大谷洋品部
大谷時計店
平町三丁目電話九番

藤沼醫院
平町紺屋町 電話五〇七番

藤田家傳
代價拾錢
藤田榮助
平町田町電話三三六番

福壽
淋病 婦人病 淋病 專門 包門 川門 院病 院病 部科 外

品質優良 所米精内関
京都産出瓦斯 有聲座隣
番〇六一 呼話電 町橋長町平
スマシタイ 運配速早 ズラハ 拘ニ少多ハ 文日御
スマ願シ試御ハ 度一非是

純朝鮮料理を開業
世界的に最も賞讃を博しつゝある支那及び朝鮮の變つた料理を朝鮮美人の優しき手に依つて皆々様の前に提供します、是非一度御試食の程をお待ちして居ります
平町白銀町一〇(元北郷醫院跡)
支那朝鮮料理専門 **日鮮館**

コツクは支那人 必らずお氣に召す
女給は朝鮮女

眞品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵 釜屋商店
金物問屋 釜屋商店
磐城平町五丁目電話一三三九番

親切第一
營業課目
裝飾器具 電線・電線類
芝浦(モートル)特約店
日立(トランス)特約店
電話機及各種乾電池
通信用器具
電機並諸機械修繕
致マヌ

便利と經濟の親玉
瓦斯で火をおこすには電氣・金物特賣の「瓦斯火おこし」に限りません。炭がくすれず取扱に便利でございませう。特價たつた金貳拾錢です。御家庭用の釘抜キ又は金鍵には「小松式四德金鍵」をおすすめ致します。特價僅か廿貳錢で其の便利な事實に驚きます。特製打及物はすべて請合ひます。經濟の親玉文化籠、東洋籠、大正籠の御試用を願ひます。どうぞ見るだけでも來て見て下さい
平停車場前 平電氣株式會社
電機ト金物販賣部
平町電四二八番

町治銀町平縣島福
會商業電平
番二一一平話電

始めて泥的に……の記

お見舞ひさるゝの記

盗んだ泥的よりも ぬすまれた僕が悪い

本社印刷部の鈴木君が「年頭の際に一杯差し上げ度いから……」との事、昨夜は高木君と共に愉快な時間を鈴木君の家で過ごす事になった、席上自強術の話が出ては昨年来自強術を始めてから一日も風邪に冒されず持病の扁桃腺炎にも悩まされぬ事を大いに誇りとしビールを吹きながら自強術の功徳を随喜したのである。

此宣傳大いに功を擧げたか。

鈴木君も夫れでは是非これを体得して自分も強健を誇る一人であり度いとの事に高木君や工場の職工も加へて明朝六時半を期し僕が大いに指南振りを發揮する約束が成り好い機嫌で印刷部の直ぐ裏手に當る自分の家へ。

引揚げたのは、十時を過ぎる頃であつた急に空腹を覺わつたので表通りを流して行く支那そばのチャラメルを聞き付け、注文した一杯のワンタンに舌鼓を打ち寝に就いたのが十一時。

鳴る目覺の音

に夢が破れて枕元を見る

と午前六時には五分前、間もなく前夜の約束でドテラに於て呉れたのをキツカケに床を蹴つて「これから自強術を……」と二階から降りて玄關迄出て來ると疊の上に泥足の跡、

ハテ心得ぬ事

もあればある

ものよと芝居掛りの譯ではないが突當りの板戸を開けて廊下を見ると其處にも足跡サテは泥的の浸入か足跡を追えば居間の敷居で夫れが消え隣りの客間に寢て居た常には眼さとい老父も先晩に限つては露いさ、かも氣づかなかつたといふ

筆筒の中にも

異状はなく

見渡した所被害はない、是れでは大丈夫と玄關側の事務室を覗くと其處にも足跡があつてテーブルのひき出しを開けた形跡はあるが別段盗まれた模様はない、何れは現金をねらつて這入り込んだに

相違がないが

夫れにしては

見當違つて僕の様な貧乏人の家に忍び込んだのは寧ろお氣の毒を掛けた様な笑止の沙汰だと印刷部からも集つて來た人々と共に大笑へをして自強術は無事に済し再び家に歸ると廊下に僕のワイシャツが落ちて居たと云ふ事から

始めて氣が付いて其處らに

眼をくばると、カモ居の釣りがきに掛けて置いたヨソ行きの洋服、夫れにオバ、家内のふだん着である銘伯羽織がない、矢張りやられたのだと早速警察署へ電話を掛けると間もなく出勤前の樺村署長が

吉田刑事部長

や其他二三の

警官を引連れて被害現場の調査に來てくれたのは有

實現至難な町村廢合

時機を見て斷行

石城郡當局の意嚮……

石城郡では郡廢を控へて郡内町村の廢合について調査中だが各町村の傳統慣習その他の事情からは容易でないたとへば山手地方の川

前村の下桶賣の如き双葉郡に屬した方が遙に便宜でありまた田人組合村の石住貝泊などは東白川郡について方がよいやうである、差は倍もかゝります。夜更かをして何もせず居ても疲れるのは夜氣の害殊に十二時後の食事は悪いのであります。胃の消化力は夜間には弱るのであります

▲冷え性と鉄劑 寒むくなりますと冷え性の人はこれを痛感させられます貧血や神経質の人にはこの冷え性は



家庭欄

夜更かしの害

晝と夜とは精神肉体上の機能の活動力が變ります。人間は殊に甚しい同じ仕事を晝間半分要したものは夜

難い、賊が落ちて行つたらしい二枚の電車乗換券から察するに他地から入り込んだものらしく指紋を調べたが容易に解らぬ、附近から早くも聞きつけて見舞つてくれた人々の話に依ると同じ

町内に矢張り被害を蒙つた

家も他に二軒あつた由で僕の家等では泥的にお見舞ひを受ける様な心配はあまいとソコは貧乏人の心安さで現に玄關口には戸締りのなかつた事が千慮の一失とも申さうか盗んだ泥的の憎む氣にはなれず寧ろ自己警戒の念が薄かつた自分自身を責めねばならないのであつた (川崎生)

あたり部落の廢合は比較的容易で玉川村大字島は警崎村に屬した方が利益であらうと同村大字岡小名の一部は小名濱町に入つた方がよい、この外にもこの兩部落のやうな事情にあるものがあるらしく郡當局は事情の許す限り比較的容易な町村から實現せしめ漸次他に及ぼしたい意嚮である

山神社の

拜殿で凍死

銘酛の揚句に

石城郡内郷村大字高坂字御殿居住宮城縣生れ警城炭礦坑夫及川惣右門(四七)は九日他所にて強か銘酛と同村山神社拜殿に寝込んだ儘凍死し平署七海部長檢視した

石城海兵募集

石城郡本年の海軍志願兵検査は來る十二三の兩日郡會議事堂に於て執行の筈であるが本年は同郡が縣下最初の検査で餘日も少い關係から各町村共志願募集を急いで居るが非常の好成績で現在既に廿餘名に達し此分では昨年の七十餘名以上に上るであらうと

が多いのであります冷え性の人は冬の來る前に鉄劑を連用するとよろしいのであります。鉄劑は一般に茶と併合してはいけぬのであります機性の鉄劑例へばフエラトローゼの如きものはかまひません今頃のやうにすつと寒くなつては肝油を併用するとよろしいのです

平第一第二に ピアノ到着

曾我校長語る

平町第一第二兩小學校では御大婚廿五年の祝典記念としてピアノ購入を企畫し過般來全町に亘つて寄附の募集中であつたが、舊臘中大体の募集を了し此程見事なる獨逸製ピアノ二臺が到着した曾我第一校長は語る

近時世相が悪化した今日情操の陶冶と云ふことは人生の滋味を味はふ上に於て最も大切なことで、殊に音樂教育が之に對して直接な關係にあるオルガンが中世紀寺院の儀式的であつたのは勿論兒童の心性に契合するにはピアノの輕快なるに如くはないのである今回縣下は勿論東北に於ても有数なるピアノを購入し得たことは如何に當校に學ぶもの

お断り 本日記事幅狭し「各種の方面より平町を覗く」の記事休載す

の、音樂に恵まれたることを喜ばずには居られぬのである

植竹翁の作歌

人國の道

上原師が琴曲に先んて「警城の誇り」及び「落花の響れ」を作歌して斯界より讚賞された舊城跡植竹源太郎翁は更らに左記近

不穩な文書

平署重大視す

ランテラ社)として激越な不穩文書が貼付されて居るのを通行人が注目して居る居るが平署高等課では時節柄極度に緊張し何者の仕業か目下嚴探中であるが曩に仙臺、福島、北海道に於て赤化團の仕業で不穩文書が至る所に貼付されたが未だ何等の手懸りも見ざる有様だが今又平町では附近に多數炭坑労働者を抱擁して居る關係もあり平署では重大視して大活動を續けて居る

有聲座の 改築工事は

二月迄延期

帝キネ直營活動常設館有聲座は場内を改築し面目を革めんが爲め今週限りにて一時休館し直ちに工事に着手する筈であつたが縣廳への手續が遅れた結果二月頃にならねば工事に着手する事が出来ないで夫れ迄は休館せず従來通り帝キネの製作品を映寫してフアンの清覽に供する由

募集

文藝其他投稿を募集します

夏井川の改修 石城郡夏井川改修は工事費五千九百九十五圓を以て神谷村大字鹽部落の請負と決定し